

高校生国際協力実体験プログラム 2022

～SDGs でつながる世界と私たち～

このプログラムでは…

- 世界を知り、日本を知り、世界と日本のつながりについて考えることができます
- 国内外で地球市民として行動を起こしている人に出会うことができます
- 地球市民として考え、行動を起こすスキルが磨かれます
- 国際協力に関心がある同世代の仲間たちと語り合えます

会場：

とちぎ国際交流センター

(栃木県宇都宮市本町 9-14)

日時：

2022 年

12月17日(土)

9:30～16:00 (予定)



対象： 栃木県の高中生

費用： 昼食代、会場までの交通費

形式： 会場にて対面式で実施



※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を施しながら、会場にて対面式で実施する予定です。しかし、新型コロナウイルスの状況によっては、実施形式を変更する可能性があることをご承知おきください。

※写真は過去のプログラムの様子です。コロナ禍以前のものも含まれます。

目的

- 開発途上国のおかれている現状や日本の国際協力について理解を深める。
- 本プログラムを通して、開発教育／国際理解教育の3つのステージ「知る」「考える」「行動する」を体験し、以下の目標に到達することを目指す。
 - (1) 開発途上国の現状や国際協力の必要性を知る。
 - (2) 国際協力に対する理解を深める。
 - (3) 国際協力への関わり方について参加者が主体的に考え、自分にできることを見出し、どう行動につなげるかを考える。
 - (4) 地域における身近な課題を通じて相互依存の中での地域の国際化対応、増加しつつある外国人との多文化共生、地方創生に向けた地域における個人の行動について考える。

日程

2022年12月17日(土) 9:30~16:00(予定)

- ※**必須**：選考後に送付する事前課題への取り組み
：とちぎ国際交流センターでの成果(ポスター)展示(予定)
- ※**推奨**：JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023への応募

実施場所・会場

とちぎ国際交流センター(〒320-0033 栃木県宇都宮市本町9-14)

募集対象・人数

- 栃木県の高校生40名程度(原則として1校につき教員引率1名、生徒2~4名)
※引率教員の方にはワークショップへの参加や、高校生の活動発表に対する講評等をお願いする予定です。
※個人で応募を希望する方はご相談ください。

参加要件

- (1) 成人引率者1名(教員が望ましい)同行できる方
- (2) 参加に関して保護者の同意が得られる方

自己負担費用

昼食代、会場までの交通費

その他

- (1) 実施期間中(自宅~会場往復含む)の負傷、事故については当センターでは責任を負いかねますので、不測の事態への対処として保険加入などはご自身でお願いいたします。
- (2) プログラムで撮影した写真・映像はJICA事業の紹介やプログラム広報のためにホームページ・SNSや冊子で公開されることがあります。ご了承のうえ、お申し込み下さい。

申込方法 および申込締切

申込書に必要事項を記入の上、**2022年11月28日(月) 17:00 必着**で以下までEmailまたはFAXでお送り下さい。(担当/引率教員がまとめてお申込みください) ※申込順に応募を受け付け、定員に達した時点で締め切ります。 ※申込書はJICA 筑波HPからダウンロードできます。

参加決定通知

2022年12月2日(金)(発送予定) ※決定通知と合わせて事前課題をお送りします

お申込み/お問合せ先

JICA 筑波 国際協力講座運営事務局 担当：山元
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館5階
特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティテュート内
TEL：03-6403-0565 FAX：03-6634-5579
E-Mail：jica_tbic_idcourses@glminstitute.org

プログラム（予定）

プログラム概要

今年の高校生国際協力実体験プログラムのゴールは、SDGsの達成に貢献するために「自分は何ができるか」を考え、発表することです。ワークショップを通してSDGsへの理解を深め、実際に行動を起こしているロールモデルの方々からヒントを得て、自分たちにできるSDGs達成のための行動計画を描きます。

| | |
|-------|--|
| 9:00 | 受付開始 |
| 9:30 | 開会挨拶・プログラム説明・スタッフ紹介 |
| 9:40 | 「SDGsワークショップ」 「SDGs（持続可能な開発目標）」をレゴブロックやカードゲームを通して楽しく体感することで、SDGsという「世界ゴト」を「自分ゴト」に近づけます。 講師：井澤 友郭さん（こども国連環境推進協会 事務局長） |
| 12:10 | 昼食 |
| 13:10 | SDGsとJICA SDGs（持続可能な開発目標）とは何かを一緒に考えた上で、SDGs達成に向けてJICAはどのような役割を担っており、これまで、そして今現在、どのような働きを世界でしているかを紹介します。 |
| 13:30 | 「行動している人の話を聞いてみよう！」 青年海外協力隊体験談 石塚貴章さん（派遣国：ラオス、職種：コミュニティ開発） 現在、ラオスのISAPH（アイサップ）というNPOで活動している石塚さんとオンラインでつなぎ、協力隊体験談やラオスの活動について話を聞きます。 |
| 14:30 | SDGs達成のための行動計画 ～今、私たちができること～ 未来の私たちの世界をよりよくするために、私たちが実践できるSDGs達成のためのアプローチを考えてみよう！ |
| 15:30 | グループ発表 |
| 15:50 | アンケート記入・閉会挨拶 |
| 16:00 | 終了 |

※プログラム内容は変更になることもあります。ご了承ください。

※適宜休憩を行います。

※終了後に学校ごとにポスターを作成し、成果を展示で発表することを予定しています。



高校生国際協力実体験プログラム2022 申込書

※印記入必須 チェックをいれて下さい ⇒ 募集要項の内容を承諾のうえ、参加を申し込みます

※引率教員の方にはワークショップへの参加や、高校生の活動発表への講評等をお願いする予定です。
 ※ご記入いただいた個人情報はプログラム運営に必要な範囲においてのみ使用いたします。また、情報の取り扱いには主催者及び事務局のみとし、第三者には一切提供いたしません。

| | | | |
|-------------------|---|-------------------|-----|
| ふりがな | | | |
| ※学 校 名 | | | |
| ※連 絡 先 | | 〒 | |
| | | TEL | FAX |
| ※担 当 教 員 | ※ふりがな | ※緊急連絡 (携帯電話など) | |
| | ※氏 名 | | |
| | ※Eメール | | |
| ※引率者 | <input type="checkbox"/> 担当教員と同じ <input type="checkbox"/> 担当以外(氏名: _____ / 連絡先: _____) | | |
| 交通手段 | <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 送迎 <input type="checkbox"/> 自転車・徒歩 <input type="checkbox"/> その他(_____) | | |

◆参加生徒名◆

| | | | | | |
|---|--------------|-----|---|-----|-----|
| ① | ※ふりがな ※氏名 | ※学年 | 年 | ※性別 | 男・女 |
| ② | ※ふりがな ※氏名 | ※学年 | 年 | ※性別 | 男・女 |
| ③ | ※ふりがな ※氏名 | ※学年 | 年 | ※性別 | 男・女 |
| ④ | ※ふりがな ※氏名 | ※学年 | 年 | ※性別 | 男・女 |

お申込み/お問合せ先

E-Mail: jica_tbic_idcourses@glminstitute.org

FAX : 03-6634-5579 / TEL:03-6403-0565

JICA 筑波 国際協力講座運営事務局 担当：山元

申込締切：2022年11月28日(月) 17:00 必着

※申込順に応募を受け付け、定員に達した時点で締め切りますので、お早めにお申し込みください。